

# “公認会計士”って どう思う？

同志社大学在学中に公認会計士の  
試験に現役合格した2名の先輩に  
インタビューしました。



# まずは自己紹介をお願いします！

商学部21年卒の光村信哉です。私は1回生の秋ごろから公認会計士の勉強を始めて、3回生の時に合格しました。岡村くんは、入学式の時に仲良くなってから一緒に公認会計士の勉強を始め、合格まで一緒に頑張った戦友ともいえる存在です。このコラムでは岡村くんと一緒に様々な質問に答えていこうと思います。岡村くんお願いします！



はいよー！光村くんと同回の岡村康平です。僕も1回生の秋ごろから公認会計士の勉強を始め3回生の時に合格をしました。合格した時、光村くんと互いにガッツポーズをして、喜び合ったことは一生忘れないと思います。今回は公認会計士について、みなさんが抱いているのであろう疑問を解消できるようなお話ができたかなと思っております。公認会計士の勉強を始めるか迷っている人だけでなく、公認会計士のことを全く知らない人にも、読んでいただくと幸いです。では、本編へどうぞ！





公認会計士は超難関資格であり、さらにアメリカの某大学の研究でAIに取って代わられる仕事だと言われている資格ですが、お二人はなぜ公認会計士を目指されたのですか？

公認会計士は“監査”というお仕事を基本的な軸としているのですが、監査は公認会計士の独占業務となっており、公認会計士じゃなければ監査業務はしてはいけないこととなっています。監査というのは、簡単に言えば、会社の決算数値に対してそれが本当に正しいのかについて検証をして、最終的には、この会社の財務諸表数値は正しいですよという保証を付します。そのため、監査というシステムがあることによって投資家は決算数値を信頼して株式投資等を安心して行えるようになります。前置きが長くなってしまいましたが、監査を行うにあたって、公認会計士は、会社の概要はもちろんのこと、会社の業務の流れやどのような統制があるかなど、とても深い領域まで理解しなければなりません。事業会社に就職してもそのような経験を積むことは難しく、さらに、その経験は自分が仮に独立する時にとても有用な経験になると考えたので目指しました。





なるほど！将来性が広がるような経験が得られるということですね！  
岡村さんはどのようにお考えですか？

僕は光村くんほど考えていませんでしたが、AIの脅威については考えさせられるところがありました。しかし、AIに取られると騒がれていますが、実際に1年働いて感じたことは、単純な作業は確かに機械化の流れがありますが、監査の核心的な、この会社に保証を付しても良いのかという最終的な判断、すなわち監査の最重要部分については、AIで代替できないので、会計士の需要というのは消えないと思います。ちなみにAIに代替されるランキング上位に入ってる資格と勘違いされるかと思いますが、それはおそらく日本でいう税理士ですので安心してください。(笑)



なるほど！公認会計士はこの先も  
安泰な職業ということですか！



次の質問に移らせていただきます。では、お二人は合格するためにどのような工夫をなされたのですか？また、自頭など今までの学習歴は関係しますか？

まず、自頭が関係するかという点についてですが、私は関係ないと考えています。私も岡村くんも指定校推薦で大学に入学しており、高校以前の勉強に正直自信はありません。しかし、公認会計士試験の試験科目は、数学や理科、英語などの高校以前の内容とは一切関係なく、フラットなスタートラインから始まるから頭の善し悪しは気にしなくていいと思います。また、公認会計士試験の論文式試験の合格必要点数は平均のちょっと上ぐらいの点数であるため、ずば抜けた才能は不要です。





公認会計士の試験科目は公認会計士独特なんですね！  
では、岡村さん勉強する上での工夫についてお願いします！

工夫というか結果論ですが、たくさんの勉強仲間を作ることが一番大事だと思います。わからないところがあったらその仲間を頼り、模試ではライバルとして、常に切磋琢磨するような関係性の仲間がいると自ずと、自分はもちろんのこと、その集団全体としてのレベルは格段と上がるかと思います。なので、勉強仲間の勉強法を参考にしながら、自分に合った勉強法を編み出し、勉強の習慣をつけることを意識すれば、平均以上の成績は取れるので、合格できます。安心してください！



勉強仲間の存在の重要性が伝わ  
てきました！

# 最後に公認会計士に興味を持っている方にメッセージをお願いします。

私は、大学の4年間で人生の方向性の8割が決まってしまうと考えています。そのため、この重要な期間に何を勉強し、何を成し遂げたのかはとても重要です。もし、公認会計士に興味を持っているのであれば、出来るだけ早く勉強を始めることをお勧めします。公認会計士の勉強は絶対に無駄にはなりません。



とりあえず行動するというのは何事においても大切です  
すね！岡村さん、お願いします！

岡村「公認会計士は、本当に魅力がたくさんあって、正直今回だけでは物足りないくらいです。公認会計士の資格さえ取れば正直、色々な仕事のバリエーションが増えて、一生お金に困ることはないのかなと思っています。公認会計士試験は、勉強期間は長いし、辛いし、難しいし……。これに対しては、否定するつもりもありません。お金もかかります。ただ今後の人生を考えた時に、勉強に費やした時間なんて忘れるくらい有意義な人生になると思うし、その勉強に費やしたお金はすぐ取り戻せるかと思います。今後、公認会計士を目指す人がさらに増えていくことを願っています。監査法人で待ってまーす！



貴重なお話ありがとうございました！

